



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6155 URL <https://www.takamaz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 宗一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	9,005	△9.7	△234	—	△253	—	△269	—
2025年3月期第3四半期	9,972	0.9	△297	—	△268	—	△766	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △361百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △710百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△25.02	—
2025年3月期第3四半期	△71.20	—

(注) 1 2026年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	20,595	15,819	76.8
2025年3月期	21,904	16,282	74.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,813百万円 2025年3月期 16,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年3月期	—	5.00	—		
2026年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,519	△9.9	△482	—	△553	—	△600	△55.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	11,020,000株	2025年3月期	11,020,000株
2026年3月期3Q	228,501株	2025年3月期	249,539株
2026年3月期3Q	10,782,892株	2025年3月期3Q	10,762,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や輸出関連の堅調さにより回復が進む一方、物価上昇の長期化に伴い消費者マインドの慎重な姿勢が続きました。また、日本銀行による政策金利の引き上げがあったものの円安基調は継続しており、企業収益や輸入物価への影響が注視される状況で推移しました。

当社グループの主力分野である工作機械業界においては、外需の伸長が寄与し、概ね好調に推移しました。国際情勢が安定を模索する中、北米・アジア市場が高水準の需要を維持しています。一方、内需は依然として厳しい状況にあるものの、自動車関連では緩やかな改善傾向が見られました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業界受注総額は、前年同期比8.4%増の1兆2,188億円となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は91億59百万円(前年同期比0.9%増)、受注残高は52億8百万円(同12.7%減)、売上高は90億5百万円(同9.7%減)、営業損失は2億34百万円(前年同期は2億97百万円の営業損失)、経常損失は2億53百万円(前年同期は2億68百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億69百万円(前年同期は7億66百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が81億96百万円(前年同期比0.5%増)、受注残高が48億43百万円(同13.2%減)、売上高が79億43百万円(同9.4%減)、営業損失が2億96百万円(前年同期は3億38百万円の営業損失)となりました。

受注高の地域別内訳は、国内向けが増加したものの海外向けが減少した結果、内需が53億57百万円(前年同期比17.9%増)、外需が28億39百万円(同21.3%減)となりました。

売上高の地域別内訳は、アジア向けは増加したものの、欧州や北米向けが減少し、国内向けも減少した結果、内需が50億21百万円(同5.8%減)、外需が29億21百万円(同14.9%減)、外需比率が36.8%(前年同期は39.2%)となりました。

第3四半期連結累計期間において、当社グループは販売、研究開発、生産の各面で受注・売上の拡大に向けて積極的に取り組んできました。

販売面では、10月に名古屋で開催されたMECT2025に出展し、複合精密旋盤として様々な加工ニーズに対応する新機種「XTL-8MYS」をはじめ、新しいオプションの搭載により加工の幅が広がった「XWT-8」、協働ロボットを採用した自動化ユニット「ServoROT-X1」等の展示を行いました。更に、経験の浅い作業者でも容易に加工プログラムを作成できる「T-PROGRAM GUIDE」もPRし、ハード・ソフト両面での高い付加価値を提案することで来場者の関心を集めました。

また、11月にタイで開催されたMETALEX2025では、アジア地域向けの新たな戦略機種「AT-1」を発表し、同日より受注を開始しました。当機種は、アジア地域で長年好評を博してきたGSLシリーズの後継機種であり、従来機に比べ広い対象物の加工が可能です。また、大型液晶タッチパネルの採用、メンテナンスや清掃作業の負担軽減、省電力仕様によるランニングコスト低減の実現など、従来機をアップデートさせて多角的な顧客ニーズに応える製品となっています。

研究開発面では、複合加工技術の深化をはかるとともに、市場の期待に応える新機種の開発を計画的に推進しました。

生産面では、顧客ニーズへの迅速な対応に向け、緻密な生産計画の策定・実行に努めるとともに、製品の更なる品質向上をはかり、各部門間の連携強化に取り組みました。

② IT関連製造装置事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が9億62百万円(前年同期比4.0%増)、受注残高が3億65百万円(同5.0%減)、売上高が9億29百万円(同13.5%減)、営業利益が50百万円(同45.2%増)となりました。

受注高は、新規案件開拓に積極的に取り組んだほか、既存案件の受注確保に努めてきたことで堅調に推移しました。

売上高は、生産負荷の分散等による短納期対応に努めてきたものの、一部既存案件における生産調整が影響し、減少となりました。一方、営業利益は、利益改善活動の効果が表れる中、製品構成比の変化もあり改善しました。

③ 自動車部品加工事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1億31百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益が11百万円(同87.4%増)となりました。

売上高は、既存案件により概ね前年同期並みの水準となりました。利益面では、期初に実施した価格改定の効果が現れる中、生産数変動に合わせた最適生産の実施により収益改善に努めました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は205億95百万円で前連結会計年度末に比べ13億9百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動資産は125億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億8百万円減少しました。その主な要因としては、現金及び預金が2億29百万円、電子記録債権が1億16百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が7億66百万円、棚卸資産が3億60百万円減少したことによるものです。

固定資産は79億99百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億円減少しました。その主な要因としては、建物及び構築物(純額)が1億81百万円、土地が1億57百万円、退職給付に係る資産が1億26百万円減少したことによるものです。

次に当第3四半期連結会計期間末の負債は47億75百万円で前連結会計年度末に比べて8億47百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動負債は32億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億19百万円減少しました。その主な要因としては、短期借入金が2億円、電子記録債務が1億80百万円減少したことによるものです。

固定負債は15億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億27百万円減少しました。その主な要因としては、長期借入金が1億87百万円、退職給付に係る負債が1億30百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は158億19百万円で前連結会計年度末に比べて4億62百万円の減少となりました。その主な要因としては、利益剰余金が3億77百万円減少したことによるものです。なお、自己資本比率は76.8%(前連結会計年度末は74.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,355	5,585
受取手形及び売掛金	2,289	1,522
電子記録債権	1,856	1,972
商品及び製品	1,256	1,120
仕掛品	1,579	1,444
原材料及び貯蔵品	787	698
その他	281	253
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	13,404	12,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,632	3,450
土地	2,411	2,253
その他（純額）	644	560
有形固定資産合計	6,687	6,265
無形固定資産	114	90
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	537	410
その他	1,194	1,266
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,697	1,643
固定資産合計	8,499	7,999
資産合計	21,904	20,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861	847
電子記録債務	1,166	986
短期借入金	890	690
未払法人税等	48	30
賞与引当金	183	123
製品保証引当金	50	38
その他	586	552
流動負債合計	3,788	3,269
固定負債		
長期借入金	767	580
退職給付に係る負債	334	204
その他	731	721
固定負債合計	1,833	1,505
負債合計	5,622	4,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,773	1,766
利益剰余金	11,218	10,840
自己株式	△178	△163
株主資本合計	14,649	14,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202	246
為替換算調整勘定	1,015	967
退職給付に係る調整累計額	408	320
その他の包括利益累計額合計	1,626	1,534
非支配株主持分	6	6
純資産合計	16,282	15,819
負債純資産合計	21,904	20,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
売上高	9,972	9,005
売上原価	7,676	6,721
売上総利益	2,296	2,283
販売費及び一般管理費	2,593	2,518
営業損失 (△)	△297	△234
営業外収益		
受取利息	6	13
受取配当金	9	11
持分法による投資利益	—	25
為替差益	31	—
その他	34	34
営業外収益合計	81	83
営業外費用		
支払利息	8	9
為替差損	—	88
持分法による投資損失	43	—
その他	0	4
営業外費用合計	52	103
経常損失 (△)	△268	△253
特別利益		
固定資産売却益	5	34
特別利益合計	5	34
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純損失 (△)	△264	△221
法人税、住民税及び事業税	17	35
法人税等調整額	484	13
法人税等合計	501	48
四半期純損失 (△)	△766	△270
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△766	△269

四半期連結包括利益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
四半期純損失 (△)	△766	△270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	44
為替換算調整勘定	85	△28
退職給付に係る調整額	△43	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△19
その他の包括利益合計	55	△91
四半期包括利益	△710	△361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△710	△361
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	工作機械事業	IT関連製造 装置事業	自動車部品 加工事業	計		
売上高						
日本	5,331	1,074	134	6,540	—	6,540
北米	1,295	—	—	1,295	—	1,295
ヨーロッパ	493	—	—	493	—	493
アジア	1,629	—	—	1,629	—	1,629
その他	12	—	—	12	—	12
顧客との契約から 生じる収益	8,763	1,074	134	9,972	—	9,972
外部顧客への売上高	8,763	1,074	134	9,972	—	9,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3	△3	—
計	8,767	1,074	134	9,976	△3	9,972
セグメント利益又は損失(△)	△338	34	6	△297	—	△297

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	工作機械事業	IT関連製造 装置事業	自動車部品 加工事業	計		
売上高						
日本	5,021	929	131	6,083	—	6,083
北米	846	—	—	846	—	846
ヨーロッパ	234	—	—	234	—	234
アジア	1,841	—	—	1,841	—	1,841
その他	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から 生じる収益	7,943	929	131	9,005	—	9,005
外部顧客への売上高	7,943	929	131	9,005	—	9,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	—	1	△1	—
計	7,945	929	131	9,006	△1	9,005
セグメント利益又は損失(△)	△296	50	11	△234	—	△234

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	355百万円	320百万円